

校長室だより 15号



笑顔いっぱい いきいき学ぶ 上塚っ子

～学びをつなぐ 心をつなぐ 未来へつなぐ～

令和5年 2月27日
横芝光町立上塚小学校
校長 秋山 てるみ

令和4年度もあと1か月となりました。学校は進級、進学に向けたまとめの教育活動を行っています。先週は千葉県標準学力検査を実施しました。結果については、それぞれの学年の学習の定着度を図る一助とし、つまづきが見られた分野については、しっかり復習をしていく予定です。

また、今年度は3年ぶりに全校が一堂に会しての「6年生を送る会」を開催し、これまで上塚小学校の顔として頑張ってくれた6年生に感謝の気持ちを伝える予定です。現在は5年生が中心となり全体の企画運営を担当し、着々と準備をしています。そして、各学年は趣向を凝らした出し物の練習が佳境をむかえているところです。さらに、卒業式も在校生も全員参加する予定です。先日、長かった新型コロナウイルス感染症との向き合い方を変える方針が国から出されました。多少の戸惑いや不安もありますが、本校としては文部科学省からの通知、千葉県教育委員会、町の教育委員会の方針のもと、実態に応じた柔軟な対応を検討していく予定です。混乱が生じることのないよう、丁寧な説明をするとともに、一人一人の意志を大切にしたい対応を心がけていきます。



ところで最近の社会に目を向けると、前号でも述べましたが、現在のインターネット社会を象徴するような事件の報道が相次ぎ、より巧妙化、悪質化しているように思えます。インターネットやSNSは、世界とつながることができ、様々な知識を得ることができる大変便利なものですが、その利用の仕方によっては大きな危険をはらんでいることも忘れてはなりません。たとえば、ネット上のグループから意図的に仲間外れにしたり、誹謗中傷を拡散したり、なりすまし投稿をするなどのネットいじめ、オンライン上のゲームで知り合った人との出会いや自撮り画像送信による被害、不適切な投稿や架空請求などの被害が、実際に身近で起こっています。「自分は大丈夫!」「うちの子どもは大丈夫!」ではなく、誰にでも起こりうる問題ととらえ、被害者や加害者にならないための手立てをご家庭と学校で考え、子どもたちが安全かつ適切に活用していける力を育てていきたいと思えます。



そのためには、子どもたちにインターネットの特性を理解させることが必要です。世界中に公開されること、一度発信した情報は完全に消せないこと、個人が特定されないと言いきれないこと、正しい情報だけでなく、悪意のある情報や勧誘もあることなどを知らせ、安全に使いたいという気持ちを育てていくことからスタートします。そして家庭では、お子さんと一緒にルールをつくり、そのルールが自分の心と身体を守ってくれることを伝えてほしいと思えます。ほかにも、安全に使用できるための設定や環境づくりに取り組んでください。フィルタリング設定や料金の設定はもちろん、何か困ったことがあった時にはすぐに相談できるよう、日頃から話し合える親子関係を保つことも重要です。トラブルを未然に防ぐとともに、情報を正しく見極め活用する力を身につけられるよう、連携を図っていききたいと思います。何かご心配なことがありましたら、ご連絡ください。